ELECOM USB סרדעקסא



ユーザーズマニュアル

■はしめに ・・・・・	■動作モートについて10
■パッケージの内容の確認 ・・・・・・	■ホイールユーティリティについて・・・・・・ 13
■各部の名称と機能 ・・・・・2	■ホイール設定モニタ ・・・・・・・・・・・・・・・・19
■本製品を取り付ける・・・・・・・・・・・・・・・・2	■バージョン情報の表示 ・・・・・・・・・・・・・・・19
■乾電池を入れる ・・・・・5	■ホイールユーティリティの
■エレコムホイールユーティリティを	アンインストール ・・・・・ 20
インストールする ・・・・・	■トラブルシューティング・・・・・・・21
■マウスを使う・・・・・・7	■ユーザーサポートと製品の保証・・・・・・・22
■複数台のワイヤレスマウスを使うときは・・8	

はじめに

このたびはUSBワイヤレスマウスをお買い上げいただき誠にありがとうございま す。本製品はWindows®98、Windows®Me、Windows®2000、Windows®xpでご 使用になれます。

ご使用になる前にこのマニュアルをよくお読みになり、正しく本製品を使用して ください。

パッケージの内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。全部そろっているかお確かめく ださい。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがあり ましたら、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

•	マウスユニット ・・・・・	1台
•	レシーバユニット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1台
•	レシーバスタンド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1台
•	ドライバディスク(3.5インチFD)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1枚
•	単4形アルカリ乾電池・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2本
•	ユーザーズマニュアル(このマニュアルです)・・・・・・・・	1⊞
•	保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1枚



本製品を取り付ける

Windows®98、Windows®Me、Windows®2000およびWindows®xpを搭載したパソ コンに本製品を取り付け、ドライバをインストールします。本製品は、USBポートの ないパソコンや、MS-DOS、Windows®3.1、WindowsNT®およびWindows®95では動 作しません。

Windows®98/Windows®Me/Windows®2000やWindows®xpのOSによって、ドライ バをインストールする手順が異なります。お使いのOSに合わせて参照してください。 Windows®98に本製品を取り付ける場合は「Windows®98に本製品を取り付ける」 (3ページ)を参照してください。

Windows®Me/Windows®2000/Windows®xp に本製品を取り付ける場合は 「Windows®Me/Windows®2000/Windows®xpに本製品を取り付ける」(4ページ)を 参照してください。

- 🖉 🖉

ホイールユーティリティのインストールや使用方法は、Windows®98、Windows®Me、 Windows®2000、Windows®xpのどのOSでも変わりません。ドライバをインストー ルする手順のみ、お使いのOSによって変わります。

Windows[®]98に本製品を取り付ける

 本製品をコンピュータのUSBポートやUSB ハブのアップストリームポートに接続します。

USBコネクタの上下方向を間違えないように、 正しく接続してください。

- ○◇メモ ・本製品は、パソコンの電源のON/OFFに関係なく挿抜が可能です。 ・他にUSB機器が接続されていて、パソコンやUSBハブにUSBポートの空きが ない場合は、あらかじめ取り外しておいてください。

2 本製品をパソコンに接続すると、自動的に 認識されます。 画面が表示されたら[次へ]ボタンをクリッ クします。



3「使用中の最適なドライバを検索する(推 奨)」を選択して[次へ]ボタンをクリックし ます。



4 すべてのチェックボックスにチェックせず [次へ]ボタンをクリックします。

* * * * * * * * * * * * * * * * * * *
< #8480 2013 - Reptus

5 [次へ]ボタンをクリックします。 ドライバのインストールが始まります。



₩×€

使用しているパソコンによっては、Windows®98のCD-ROMディスクを要求 される場合があります。

6 [完了]ボタンをクリックします。



これでインストールが完了しました。次にエレコムホイールユーティリティを インストールします。「エレコムホイールユーティリティをインストールする」 (6ページ)に進んでください。

Windows®Me/Windows®2000/Windows®xplこ本製品を取り付ける

 Windows*2000やWindows*xpで本製品をお使いの場合は、Administrator権限 を持ったユーザでログオンします。
 Windows*Meでお使いの場合は、そのまま手順2に進んでください。

2 本製品をコンピュータのUSB ポートやUSBハブ のアップストリームポートに接続します。 USBコネクタの上下方向を間違えないように、正 しく接続してください。



・本製品は、パソコンの電源のON/OFFに関係なく挿抜が可能です。 ・他にUSB機器が接続されていて、パソコンやUSBハブにUSBポートの空き がない場合は、あらかじめ取り外しておいてください。

3 本製品をパソコンに接続すると、自動的に認識されます。

これでインストールが完了しました。次にエレコムホイールユーティリティをイン ストールします。「エレコムホイールユーティリティをインストールする」(6ページ) に進んでください。



- 乾電池の+と-の向きを間違えないように挿入してください。
- 乾電池は単4形アルカリ乾電池を使用してください。
- 長時間使用しない場合は、乾電池を取り外してください。
- 快適にご使用していただくため、乾電池は6ヶ月以内に交換してください。
- 初めて乾電池を挿入した場合や、乾電池の交換時は、マウスユニットがスリープ モードになっている場合があります。この場合は、マウスユニットのホイールボ タンを1秒以上押し続け、スリーブモードを解除してから使用してください。

エレコムホイールユーティリティをインストールする

本製品をパソコンに接続してドライバをインストールした状態では、本製品は Windows標準のInteli[®]Mouse互換マウスとして動作します。本製品独自のホイール 機能は、エレコムホイールユーティリティをインストールすることで使用できます。 次の手順で「エレコムホイールユーティリティ」をインストールします。

┎⚠注意・

Windows[®]2000やWindows[®]xpで本製品をお使いの場合、Administrator権限がないと本製品をインストールできません。

「 🖉 メモ -

ここでは Windows[®]98 でのインストール手順を説明していますが、 Windows[®]Me/Windows[®]2000/Windows[®]xpをお使いの場合でもインストール方 法や表示されるダイアログは変わりません。Windows[®]98と同じように、次の手 順で「エレコムホイールユーティリティ」をインストールしてください。

- Windows®2000やWindows®xpで本製品をお使いの場合は、Administrator権限 を持ったユーザでログオンします。 Windows®98やWindows®Meでお使いの場合は、そのまま手順2に進んでください。
- 2 ドライバディスクをパソコンのFDドライブに挿入します。
- 3「スタートメニュー」「ファイル名を指定して実行」の順に選択します。 ファイル名を指定して実行ダイアログが表示されます。
- 4 「a:¥setup」と入力し[OK]ボタンをクリック します。 セットアッププログラムが定動します。
- 5 インストール先のフォルダを確認して[次へ]ボ タンをクリックします。



6 [次へ]ボタンをクリックします。 エレコムホイールユーティリティのインストール が始まります。



- 必要に応じてチェックボックスをチェックし、
 [完了]ボタンをクリックします。
 - 「終了する前にReadMe.txtの内容を表示する」
 - …… [完了]ボタンを押した後にReadMe.txt を表示します。



- •「終了後、コンピュータを再起動する」
 - ・・・・・・「完了」ボタンを押した後、自動的にパソコンが再起動します。 「終了する前にReadMetxtの内容を表示する」チェックボックスと同時にチェックしているときは、ReadMetxtを表示しているアプリケーションを終了すると、自動的にパソコンが再起動します。

パソコンの再起動後に「エレコムホイールユーティリティ」が使用できます。 「ホイールユーティリティ」の操作方法については「ホイールユーティリティについて」 (13ページ)を参照してください。

マウスを使う

■レシーバユニットを設置する

マウスの発信する電波が受信できるよう に、レシーバユニットを設置します。 マウスから1m以内の設置が理想的です。 設置環境によっては、1m以内に設置し ても正常に動作しない場合は、アンテナ を伸ばして調整するか、レシーバユニッ トをマウスに近づけてください。マウス か動作しなかったり動作が不自然な場合 は、正しく電波を受信できていません。 感度がよくなるように、レシーバユニッ トのアンテナを伸ばし、角度を変更して ください。



■スリープモードについて

電池の消耗を防ぐため、マウスを30分以上操作しないときはスリープモードなりま す。スリープモードになると、ボタンをクリックしたり、マウスを動かしても動作 しなくなります。また、パソコンがスタンバイモードから復帰した場合も、マウス はスリープモードになっています。

スリープモードを解除するには、 ホイールボタンを1秒以上押し つづけます。



- 🖉 🗶 -

スリーブモードを解除してもマウスの反応がないときは、レシーバユニットがパソ コンに正しく接続されているか、マウスの電波を受信する範囲に設置しているかを 確認してください。

■ ホイールについて

本製品の中央にあるホイールは自動車のタイヤのように前後に回転します。これを 前後に回転させることによりWindowsをより快適にご使用いただけます。このホイー ルは、ボタンとしても動作します。ホイールを押すことで3ボタンのマウスとしても 機能します。

複数台のワイヤレスマウスを使うときは 本製品は無線を使用しているため、 本製品を2台以上を同時に使用する と混信してしまいます。 そこでレシーパユニットのマウスの ベアごとにチャンネルを認定し、混 信が発生しないようにします。 設定できるチャンネル11に設 定されています。 2

チャンネルを変更する

マウスとレシーバユニットのチャンネルを変更します。ここでは例としてチャンネル「3」を設定します。

1 マウス底面にあるチャンネルボタン をボールペンなどの先の細いもので 2回押します。 チャンネルランプが3回点滅し、 チャンネル3に設定されたことを 表します。



チャンネルボタン チャンネルランプ

 レシーパユニット側面にあるチャン ネルボタンをボールペンなどの先の 細いもので2回押します。
 チャンネルランプが3回点滅し、 チャンネル3に設定されたことを 表します。



チャンネルボタン チャンネルランプ

● チャンネル8の設定後、次にチャンネルボタンを押すと、チャンネル1に戻ります。
 ● チャンネルボタンを1秒以上押し続けると、チャンネル設定がリセットされチャンネル1に戻ります。



チャンネルボタンを1秒以上押し続けると、チャンネル1に戻ります。

■チャンネル設定をリセットする

設定をリセットして、チャンネル1に戻します。次の手順でリセットします。

 マウス底面にあるチャンネルボタン をボールペンなどの先の細いもので 1秒以上押し続けます。 チャンネルランプが点灯します。



チャンネルボタン チャンネルランプ

2 チャンネルランプが点灯したことを確認して、チャンネルボタンを離します。

3 レシーパユニット側面にあるチャン ネルボタンをボールペンなどの先の 細いもので1秒以上押し続けます。 チャンネルランプが点灯します。



チャンネルボタン チャンネルランプ

4 チャンネルランプが点灯したことを確認して、チャンネルボタンを離します。

これで、チャンネル設定がリセットされて、チャンネル1の設定に戻りました。

動作モードについて

本製品には、2種類の動作モードがあります。

(/) メモ・

本書では「Office97互換アプリケーション」とは、Office97やOffice97と同様の手 法によってInteli[®]Mouseに対応したソフトウェアのことを総称して表記しています。

Office97互換モード

Office97互換アプリケーション上で、Microsoft Intelli®Mouseと同様の動作 をします。エレコムホイールユーティリティをパソコンにインストールせず本 製品のドライバのみインストールしている場合は、Office97互換モードで動 作しています。

エレコムオリジナルモード(オリジナルモード)

エレコム独自のモードです。ほぼすべてのアプリケーションで動作し、エレコム ホイールユーティリティを使ってマウスの動作を設定できます。初期値では、次 のように動作するように設定されています。

ホイール回転・・・・・・・・・・・・・・・・・・上下スクロール(3行単位) SHIFTキーを押しながらホイール回転・・・・・・・・・・・ト下スクロール(ページ) CTRLキーを押しながらホイール回転・・・・・・・た右スクロール(ページ) ホイールボタンを押す・・・・・・・・・・・・ンドカーンリル・スクロール

┏_⚠注意-

- 🖉 🖉 -

ー ハンドカーソル・スクロールを使うと画面をつかみ表示範囲を移動できます。

また、Office97互換モードとエレコムオリジナルモードの2つの「動作モード」を基本 に、エレコムホイールユーティリティでは3つのモードが用意されています。

かんたんおまかせ設定

Office97互換アプリケーションではMicrosoft Inteli®Mouseと同様の動作し、その他のアプリケーションではエレコムオリジナルモードの初期値で動作します。

全てのアプリケーションでOffice97互換モードを使用

すべてのアプリケーションでMicrosoft Intelli®Mouseと同様に動作します。 Office97互換アプリケーションではMicrosoft Intelli®Mouseと同様の動作をしま すが、その他のアプリケーションでは、ホイール機能が使用できません。

アプリケーション毎設定

すべてのアプリケーションでマウスの動作を設定できます。また、アプリケーショ ンごとに動作モードを設定できます。初期値では、次のアプリケーションのみ Office97互換モードで動作するように設定されています。

•エクスプローラWeb表示 •Microsoft Excel •Microsoft Internet Explorer

- Microsoft PowerPoint ・Microsoft Word ・Windowsのヘルプ
- •一太郎9

- 🖉 🗸 モ –

「エレコムホイールユーティリティ」をインストールした直後は、「かんたんおまか せ設定」に設定されています。

- 12 -

Office97互換モードでの動作

Office97互換モードでの動作を説明します。

22×+-

エレコムオリジナルモードでは動作を個別に設定できます。設定の方法については 「ホイールユーティリティについて」(13ページ)を参照してください。

スクロール

ウィンドウトでホイールを前後に回す と上下スクロールバーにポインタを合 わせなくても画面を上下にスクロール できます。

パン (連続スクロール)

ホイールを押しつづけながらマウスを動かすと、画面を好きな スピードで好きな方向に連続スクロールできます。ホイールを 離せば、スクロールは終了します。

オートスクロール

ホイールをクリックしてからマウスを動かすと、画面が自動的 にスクロールします。スクロールの速度と方向は、最初のクリッ ク位置からの相対速度により変化します。再度、ホイールをク リックするとスクロールが終了します。

ズーム

[Ctrl]キーを押しながらホイールを回す と、画面が拡大・縮小します。

データズーム

[Shift]キーを押しながらホイールを回 すと、データを折りたたんだり、再び 開いて表示させたりします。



エレコム株式会社

ホイール付きマウス









エレコム株式会社

ホイール付きマウス

- 長年の名歌とはたらき

エレコム株式会社 ホイール付きマウ

取扱説明書

ホイールユーティリティについて

ホイールへの割り当て、ポインタの動作設定など、本製品のさまざまな機能を設定します。

設定を行なうには、タスクトレイにある アイコンを右クリックし、「設定」を選びます。「マウスの プロパティ」が表示されます。

設定(<u>C)</u>	k
ホイール設定モニタを開く(M) (
バージョン情報(<u>A</u>)	
終了(2)	

各項目の説明

●[🔮 ボタン]タブ

[● ボタン]タブでは、マウスのボタン・ホイール動作を設定します。



①[標準ボタンの選択]

マウスボタン左右の機能を入れ替えます。通常は、「左ボタン」に設定されています。

②[ダブルクリック間隔]

ダブルクリックの間隔を設定します。スライダを右へ動かすと間隔が短くなり、左へ 動かすと長くなります。右側のイラストでダブルクリックのテストができます。

③[ホイール回転方向]

通常は、ホイールの回転は「前」に動かすと「上スクロール」、「後」に動かすと「下ス クロール」に設定されています。「ホイール回転方向を反転する」をチェックすると その動作が逆になります。

④[ホイール操作とフォーカス設定]

1つのアプリケーション内に複数のスクロールバーがあるときに、スクロールバー の動きを設定します。

「フォーカスウィンドウがスクロール」

フォーカスがあるウィンドウがスクロールします。 右図のように、カーソルが「B」にあっても、フォー カスは「A」にあるので、「A」のウィンドウがスクロー ルします。

「ホイール回転時に入力フォーカス移動」

マウスカーソルの位置にフォーカスが移動します。



右図のように、カーソルが「B」にあるときにホイールを回転させると、フォーカスは「B」に移動して、「B」のウィンドウがスクロールします。

「カーソル下ウィンドウがスクロール」

フォーカスに関係なく、マウスがある位置にある ウィンドウがスクロールします。右図では、フォー カスは「C」にありますが、「D」のアプリケーショ ン上にマウスカーソルがあるので、この位置でホ イールを回転させると「D」のウィンドウがスクロー ルします。

	REAL PROPERTY IN
-	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
С	
#18-1995/ss78#4481. エレコム U8 ホイール付きマウス	
*1	

●[(モード]タブ

[【 モード]タブでは、ホイールの設定をします。

	202020124	7 ×
	● ポタン ポインタ 動作 ● モード	
	モード選択	
0	ホルたんおまかせ設定(B)	
	初心番用設定です。通常はこちらを設定しておいて下さい。	
	C 全てのアプリケーションで Office97 互換モードを使用(Q)	
	金アウリケーションで Office97 互換モードを使用します。 但し、Office97 互換モードに対応していないアウリケーションではホイー ル税証が使用できません。	
	アプリケーション番談定(A)	
	各アウリケーション毎に独自に設定する場合に選択します。	
	18miluto(3).	
	- Office97 互換モードのスクロール行動(S)	
2	「行単位し」 3 二 「 ページ単位(P)	
e		
	OK キャンセル 1975	1

①[モード選択]

ホイールのモードを選択します。

「かんたんおかませ設定」

初心者用の設定です。通常はこのモードを選択してください。

•「全てのアプリケーションでOffice97互換モードを使用」

Office97互換アプリケーションでOffice97のIntell®Mouseと同様の動作をします (Office97と互換でないアプリケーションでは、2ボタンマウスとして動作します)。

•「アプリケーション毎設定」

各アプリケーションごとに、独自に動作を設定する場合に選択します。設定する 方法については、16ページを参照してください。

ØXE -

「アプリケーション毎設定」を選択した場合、本製品の仕様により16ビットアプリケー ション (Windows®3.1用のもの)を設定しても無効となり「デフォルト」の設定が適 用されます。あらかじめご了承ください。

②Office97互換モードのスクロール行数

- Office97 互換モードのスクロール行数(S)		
● 行単位(1) 3 Ξ	○ ページ単位化)	

Office97互換モードでのスクロール速

度を設定します。

「行単位」または「ページ単位」を設定します。行単位でスクロールする場合は、ス クロールする行数も設定できます。

■ホイール動作の設定

ホイールには「ホイール回転」「SHIFT+ホイール回転」「CTRL+ホイール回転」「ホイー ルボタン」の4つの動作が設定できます。ホイールの動作内容は、[アプリケーション 設定]ダイアログで設定します。

ホイール回転(SHIFT+、CTRL+)
 ホイールボタン





-*🖗*×モ

- 「ホイールを押しながら回転」の機能は、本製品では動作しません。
- エレコムオリジナルモードでのスクロール機能は、スクロールパー操作と同等です。スクロール1行はスクロールパーの▲の1クリックに相当します。
- アプリケーションにより、動作に制限があります。
- ドライバディスクにあるreadme.txtには、現在判明している最新の制限事項が挙 げられています。

■ アプリケーションごとの設定

次の手順で、アプリケーションごとにマウスの動作を設定します。

- 1 モード選択で[アプリケーション毎設定]を選択し[設定画面]ボタンをクリックします。[アプリケーション設定]ダイアログが表示されます。
- 2 新しくアプリケーションを追加する場合は「追加」ボタンをクリックします。 [アプリケーションの登録]ダイアログが表示され、現在動作中のアプリケーションの一覧が表示されます。すでに登録済みのアプリケーションの加く開にはチェックマークが付いています。アプリケーションを選択すると下の[登録する実行ファイル名]と[登録アフリケーション名]の欄に自動的に入力されます。

- 🖉 × モ –

- [更新]ボタンをクリックすると、[実行中のアプリケーション]欄のアプリケーションが最新のものに更新されます。
- 「デフォルト」は、追加されたアプリケーション以外のすべてのアプリケーション が対象になります。また、16ビットアプリケーションは「使用するアプリケーショ ンごとに設定する」で設定しても、この「デフォルト」の設定になります。
- 登録したいアプリケーションがリストにない場合は、[参照]ボタンをクリックして、 実行ファイルを探します。登録アプリケーション名を入力します。ここでの入力は、 ホイール動作を設定するアプリケーションを選択するときにのみ有効です。
- 一部のアプリケーションでは、あらかじめ動作が設定されているものがあります。
- アプリケーションにより、動作に制限があります。
- ドライバディスクにあるreadmetxtには、現在判明している最新の制限事項が挙 げられています
- 3 登録する内容を確認して[OK]ボタンをクリックします。 [アプリケーション設定]ダイアログに戻ります。

4 [アプリケーション設定]ダイアログに、手順2で登録したアプリケーションが表示されています。アプリケーションについて、個別にホイールの設定をします。 リストボックスから動作を選択してください。 登録したアプリケーションを削除したい場合は、削除したいアプリケーションの「ア プリケーション名」セルを選択して「削除」ボタンをクリックします。 選択したアプリケーションを「Office97互換モード」で使用する場合は「モード」 セルを選択して、リストボックスから「Office97互換」を選択します。 「エレコムオリジナルモード」で使用する場合は、「モード」セルを選択して、リス トボックスから「エレコムオリジナルモード」を選択します。ホイール動作の詳細 設定ができるようになります。

■ユーザー定義動作の設定

5つの項目ごとにそれぞれユーザ独自の動作を 定義できます。(項目により、多少表示が異な りますが、基本的な定義方法は同じです。)

84-ASM (2-9508-1)	28
- ADITATION	
○ #=#=F00	
C 202868	82852 9399
○ 潮道時10 ①	(#948841/200-80m) X
130%(1009010)	1.5800/F008349(Q)
18/20765(E(B404))	17(2)*(2)*(2)*(2)*(2)*(2)*(2)*(2)*(2)*(2)*
	12
-8#100: [
	06 59725

1 モード選択で[アプリケーション毎設定]を選択し[設定画面]ボタンをクリックします。

[アプリケーション設定]ダイアログが表示されます。

- 2 ホイールの動作を設定するときに、ユーザ定義を選択します。 [ユーザ定義]ボタンが選択できるようになります。ユーザ定義は5つまで設定できます。
- 3 [ユーザ定義]ボタンをクリックします。 [ホイール回転]ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「キーボード」「マウス操作」「遅延操作」のいずれかを選択し、必要に応じて設定します。

「キーボード」では、自動入力するキーを選択します。

「Windowsキー」や「Altキー」などのキーとの組み合わせも可能です。「マウス操作」 では、自動で行うマウスクリックを選択します。「遅延操作」では、操作の途中の 遅延時間を設定します。

動作の設定はホイールの回転の1ステップごとに、1ステップごとに、「キーボード」、「マウス操作」、「遅延操作」のいずれかを選択して、[追加(上回転時)]ボタンまたは[追加(下回転時)]ボタンをクリックします。設定した項目が、上回転時、下回転時それぞれの設定内容ウィンドウに追加されます。

- 🖉 🗡 E -

登録した操作を削除するには、削除したい操作をクリックしてから[削除]ボタンを クリックします。

5 すべての設定が終わったら、名称を入力して[OK]ボタンをクリックします。 [アプリケーション設定]ダイアログに戻ります。 設定例:

ここでは「Netscape 6」で「ホイール回転」に『進む/戻る』を、「CTRL+ホイール回転」 に『フォント大きさの変更』を割り当ててみます。

右の画面では、「ホイール回転」のユーザ定 義1に設定したものです。「上回転時」に「右 ボタンクリック」+「F」で「ページ送り」を設 定し「下回転時」に「右ボタンクリック」+ 「B」で「ページ戻り」を設定しています。同 様に、「CTRL+ホイール回転」のユーザー定 義で「上回転時」に「CTRL+:」で「フォント の拡大」を設定し「下回転時」に 「CTRL+ ー」で「フォントの縮小」を設定し ます。



「Netscape 6」で設定した内容が反映され ます。

アナリケーション名	E-8	あて日ル	+ Skill
デフォルト	オリジナル	上下201-1/0行单位)	上下次知一彩小~-
125-2-14E4.00	Office97互換		
Microsoft Eccel	Office97互換		
Morosoft Internet Explorer	Office97互換		
Morosoft Word	Office97互換		
netscape	オリジナル	1-5字論16時に(菜る)	上下201-11/05-



ホイール設定モニタ

「ホイール設定モニタ」を使用すると、現在の ホイールの設定状態がモニタできます。「ホイー ル設定モニタ」を起動させるには、「スタート メニュー]-「ブログラム]-「エレコムホイー ルユーティリティ]-「ホイール設定モニタ]を 実行するか、タスクトレイにある ♀ アイコン を右クリックして「ホイール設定モニタを開く」 を選択します。

ELECOM #	メール設定 モニタ 🛛 🛛
基本設定	オリジナル
通常回転	上下ス加ール(3行単位)
回転(Shift)	上下ス加ール(ペーン)単位)
回転(Ctrl)	左右ス加ール(ペーン)単位)
回転(押)	左右ス加ール(3行単位)
ボタン	なし

「ホイール設定モニタ」はデフォルトでは、「常 に手前に表示」に設定されています。前面表示 したくないときは、「ホイール設定モニタ]ダ イアログ上を右クリックしてメニューから「常 に手前に表示」を選び、チェックをはずしてく ださい。

EL → 常に手	前に表示(1)
	2) 10
	ル設定モニタの終了 🗵
回転(押)	左右ス加ール(3行単位)
ボタン	なし

バージョン情報の表示

ホイールユーティリティのバージョンを表示 します。

タスクトレイにある 🕑 アイコンを右クリック して「バージョン情報」を選択します。



ホイールユーティリティのアンインストール

次の手順でアンインストールします。

г∕≜注意∙

Windows®2000やWindows®xpで本製品をお使いの場合は、Administrator権限が ないと本製品をアンインストールできません。

- Windows[®]2000やWindows[®]xpで本製品をお使いの場合は、Administrator権限 を持ったユーザでログオンします。
 Windows[®]98やWindows[®]Meでお使いの場合は、そのまま手順2に進んでください。
- 2 [スタートメニュー]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と 削除]の順にクリックします。
- 3「エレコムホイールユーティリティ」を選 択して、「追加と削除」ボタンをクリック します。 「エレコムホイールユーティリティのアン インストール」ダイアログが表示されます。



4 [実行]ボタンをクリックします。エレコムホイールユーティリティをアンインストールします。 「ユーザー設定を残す」チェックボックスを チェックすると、次回エレコムホイールユー



「ユーザー設定を残す」チェックボックスを チェックすると、次回エレコムホイールユー ティリティをインストールしたときに、前 回の設定が反映されます。

トラブルシューティング

マウスユニットを動かしても、マウスカーソルが反応しない

 マウスユニットがスリーブモードになっている可能性 があります。30分以上マウスを動作させないと、マウ スユニットは自動的にスリーブモードになります。
 スリーブモードになると、ボタンをクリックしたり、マウ スを動かしても動作しなくなります。また、パソコンがス タンパイモードから復帰した場合も、マウスはスリーブモー ドになっています。スリーブモードを解除するには、ホイー ルボタンを1秒以上押しつつけます。



1秒以上押しつづける

レシーバユニットとマウスユニットのチャンネルが異なって設定されている可能性があります。
 「複数台のワイヤレスマウスを使うときは」(8ページ)を参照して、レシーバユニットとマウスユニットを同じチャンネルに設定します。本製品の出荷時はチャンネル

1に設定されています。

ノートパソコンに接続して、アンインストールしたあと、内蔵のポイ ンティングデバイスが使用できなくなる

本製品の仕様により、エレコムホイールユーティリティをインストールするときに内 蔵のポインティングデバイス(タッチパッド、スティック、トラックボール)を書き換え ます。

エレコムホイールユーティリティをアンインストールしたときは、内蔵ポインティ ングデバイスの設定を再度行なう必要が生じる場合があります。

特定のアプリケーションで設定通りに動作しない

アプリケーションによってはホイールを回してもスクロールしない等、エレコムホ イールユーティリティでは制御できない場合があります。あらかじめご了承下さい。 ドライバディスクにあるreadme.txtには、現在判明している最新の制限事項が挙 げられています。

「ホイールボタンを押しながらホイール回転」を設定しても動作しない

本製品の仕様により、エレコムホイールユーティリティ上で「ホイールボタンを 押しながらホイール回転」を設定しても動作しません。 「ホイールボタン」に動作を設定してください。

ホイールユーティリティのアンインストールに失敗する

[アプリケーションの追加と削除]からでもアンインストールできない場合は、 「ecuninst.exejを実行してアンインストールしてください。 次のフォルダに「ecuninst.exejが収録されています。

- Window[®]98·····¥WIN98
- Window[®]Me ·····¥WIN98
- Windows[®]2000 ·····¥Win2000
- Windows®xp ·····¥Win2000

ユーザーサポートと製品の保証

本製品の保証書は、内容をお確かめの上大切に保管してください。 本製品をお使いになっているときに、何らかのトラブルが起きたときや、操作方法 や使いかたがわからなくなったときには、ELECOM総合インフォメーションセンター にご連絡ください。

商品に関する ●エレコム総合インフォメーションセンター 受付時間 お問い合わせは **TEL.03-5337-3024** 9:00~12:00 13:00~18:00

USB ワイヤレスマウス ユーザーズマニュアル M-DU2-2 2001年8月20日第2版

- 本書の著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- 本書の内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございました
 ら、販売店までご連絡願います。
- 本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に 基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- Microsoft[®]、Windows[®]、WindowsNT[®]は、米国Microsoft社の登録商標です。その他本書に掲載されている商品名/社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。

©2001 ELECOM Co, Ltd. All rights reserved.